

立候補者のお名前	本多平直
所属政党	立憲民主党
選挙区／比例ブロック名 (*)	北海道 4 区/北海道
問 1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか？ 将来はいかがでしょうか？（単独回答）	1. LGBT の課題として、既に含まれている
問 2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。 ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうなさいますか？（複数回答可）	1. その人を尊重し応援したいと思う
問 3－① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、 広く社会に教育・啓発を行う	5) その他（具体的な答えや補足は、問 3⑦の下のボックスに、自由記述願います）
問 3－② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	5) その他
問 3－③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る） の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	5) その他
問 3－④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防 止体制を確立する	5) その他
問 3－⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・ 職場等に整備する	5) その他
問 3－⑥ LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取 扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	5) その他
問 3－⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施 設面の対応を推進する	5) その他

<p>上記①-⑦にて、5) をお選びの場合、① - ⑦を特定しながら、具体的にご記述ください。</p>	<p>①②積極的に教育、啓発を行うことはLGBT当事者が直面する「他者や社会との関係における困難」の解消のためにも、「自身の性的指向・性自認と向き合う際の困難」の軽減のためにも必要だと思います。ただし「法律による義務化」は学校教育にはなじまないのではないのでしょうか。教育・啓発をすすめる方策については検討したいと思います。</p> <p>③④⑤⑥⑦何らかの強力な対策、とりくみが必要だと考えますが、「基本計画」「法律」という形がベストなのかどうかは検討したいと思います。</p>
<p>問4 世界では、現在41の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広がっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）</p>	<p>1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ</p>
<p>問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。</p>	<p>たくさんの当事者の方とお会いし、その思いをお聞きして、政策につなげたいと考えています。</p>